

地区広報 芸術の森



夢を実現しよう 芸術の森地区まちづくりビジョン

芸術の森地区町内会連合会

会長 高橋 稔一

☆まちづくりビジョンについて

未来に希望を持ち、将来に夢を描くことは、人間のみ与えられた特権であります。希望を持ち、夢を描くことができるから、人々は現実の苦難や苦悩に耐えることができます。(夢を持てない時代は暗闇です)

でも、希望や夢が、壮大で、遙かに遠いものであると人々は、落胆と失望の淵に転落します。

芸術の森地区まちづくりビジョンは、常にこのことを念頭に置き、三つの視点と十二の基本目標を設定しましたが、これらは地域住民の理解と協力、そして努力によって解決できるものであります。

更に、基本目標ごとに取り上げました課題は現時点で想定されるものを列挙(例示)したものですから、時代の進展に合わせて、皆さんの知恵と力で加除修正することも可能です。

但し、三つの視点と十二の基本目標は、十年間の旗印として、常に追い求めて行きましょう。

☆「希望や夢」実現のカギはシニックバイウェイ

国土交通省では関係省庁の協力を得て平成16年度からシニックバイウェイ(景観の美しい脇道)事業を展開しています。これは地域の隠れた景観を発掘した

り、新しい景観を創造する活動をとおして地域の生活を活性化し地域に潤いと安らぎを与え、それを、広く国内外の人々に公開して、活用していくものです。その背景には、観光バスで、事前に設定したコースを回る観光から家族や友人とレンタカーで自由に気にいった所をゆっくりと巡る観光旅行への変化があげられます。

先日の新聞では、千歳空港に外国人専用のカーナビ付きレンタカーが配置されたと伝えています。

将に、シニックバイウェイ=素晴らしい脇道を活用する=時代が訪れているのです。

まちづくりビジョンの中には、このことを想定した幾つかの課題を例示しています。

シニックバイウェイの取り組みは平成18年度、芸術の森連町の大きな課題です。

芸森連町では、これに関する色々なイベントを企画していますので皆さんのご意見をお寄せ下さい。

☆動き出した新しい福祉活動

ビジョンの策定に合わせて福祉協議会では介護予防の一環として7月より「もりの仲間のさわやかクラブ」が始動いたします。詳しくは、町内会の福祉関係者にお問い合わせください。高齢者の参加を期待します。

入所サービス
ショートステイ



みなさまの想いにおこたえいたします

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
〒005-0849 札幌市南区石山837-47

居宅介護支援事業所併設(ケアプラン作成)



0120
FreeDial

0120-348-365

通所リハビリテーション



芸術の森地区町内会連合会 定期総会報告

定期総会は、4月29日(土)15時より芸森地区会館において、芸術の森地区町内会連合会(連町)の総会が開催されました。

連町理事と代議員出席のもと高橋会長の開会挨拶後、議長に石山東町内会副会長斎藤公博氏を選出、議案の審議に入り、平成17年度事業報告、決算報告、監査報告があり承認されました。

次いで平成18年度重点活動方針ならびに事業計画案、予算案、会則の一部改正案の提案があり原案どおり可決されました。

▶平成17年度重点活動報告

ここでは、次の2事業について報告します。

1. 創立10周年記念式典の開催

平成17年は、当連町の創立10周年記念の節目の年に当り、10月15日には関係機関、団体、各町内会の代表の方々により式典が開催されました。

2. 芸術の森地区まちづくりビジョンの改訂

主題を「人と自然に優しい文化推進の里」とし、平成10年3月に当地区のビジョンが策定されました。平成17年は連町の創立10周年の節目の年に当り、町内会をとりまく情勢の変化に対応すべく、新まちづくりビジョンが策定されました。

このまちづくりビジョンは、関係機関、団体ならびに各町内会全戸に配布され、これから当地区のまちづくりのために参考として頂けますと幸甚です。

▶平成18年度重点活動方針

・基本方針

1. 芸術の森地区まちづくり新ビジョンの実現

新まちづくりビジョン実現のための計画立案と実施。

2. もりの仲間の子どもを見守るネットワークの充実

常盤小学校、石山東小学校、駒岡小学校の各校区「子どもを見守る会」との連携。

3. シーニックバイウェイ事業の取組み

推進委員会結成への取組み。

4. 交通体系の整備

都市計画道路の内容把握。

5. 「大学城下町」構想の策定

- ・まちづくり事業の実現：景観づくりの交流等
- ・シーニックバイウェイ事業推進：景観デザイン面における交流。

6. 広報活動の充実

- ・ホームページの内容充実と活用。
- ・地区広報・芸術の森編集委員会の充実、援助。

7. 要望・陳情

- ・交番の設置。
- ・国道453号の道路拡幅。
- ・常盤団地入口のセンサー付信号機の設置検討。

会議・行事予定等

芸森連町

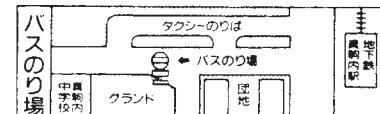
- ・芸術の森地区まちづくり推進会議 : 2回予定
- ・地区広報・芸術の森編集委員会参加 : 10回参加
- ・GNC運営委員会 : H18.5~H19.3随時
- ・芸術の森地区ウエルカムロード環境整備事業(シーニックバイウェイ事業) : H18.4~19.3随時
- ・芸森地区子どもを見守る会ネットワーク : 通年
- ・芸術の森地区ソフトボール大会 : H18.7.2
- ・芸術の森地区大運動会 : H18.8.27
- ・第12回芸術の森地区文化祭 : H18.11.2~3
- ・第11回芸術の森地区音楽祭 : H18.11.19
- ・防犯、防火啓蒙運動 : 通年
- ・春、夏、秋の清掃運動 : H18.4~10
- ・ごみステーションパトロール : 通年
- ・春、夏、秋、冬の交通安全推進運動ほか : 通年
- ・もりの仲間の交流会 : H18.9
- ・女性部研修会 : H18.11

無料

見学・墓参バス運行中

時間

午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



札幌市許認可霊園

お問い合わせ・
お申込みは 真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223 代表



幅広い年齢層への福祉の充実を図ります

昨年に引き続き

芸術の森地区社会福祉協議会
(福祉のまち推進センター)

会長 伊 藤 正

芸術の森地区における、地域福祉の向上・充実を願い、皆様のご協力・ご理解のもと、平成18年度もスタートいたしました。

昨年に続き「福祉のまち推進センター」の基盤を強化すべく、連町及び単町福祉部との連絡を密にし、意見交換会・研修会への参加促進により、当(芸術の森地区社会福祉協議会)の資質の向上を図りたいと思います。

実績が評価されております「もりの仲間の交流会」(9月9日実施予定)「もりの仲間の子育てサロン」

(毎月第1・第3水曜日)「もりの仲間のこまおか朝市」(毎月第2・第4日曜日)は引き続き、実施・充実を図ります。加えて、今年度は社協(ふれあい部)所掌の「もりの仲間のさわやかクラブ」(ミニデイサービス)がスタートいたします。

今年度もお年寄りからこどもまで、幅広い年齢層に向けた福祉の充実を推し進めていきたいと思いますので、皆様のご支援とご協力をお願い致します。

平成18年度 芸術の森地区

社会福祉協議会 定期総会報告

去る5月23日(火)午後6:30から芸術の森地区社会福祉協議会、福祉のまち推進センター定期総会が開催されました。伊藤正会長の挨拶の後、議案第1号から第5号まで活発な討議のもと、平成17年度事業報告、決算報告、監査報告が承認されました。次いで平成18年度重点活動方針並びに事業計画案、予算案が原案どおり可決されました。

平成18年度 事業計画

1. 事業活動の重点

- (1) 福祉のまち推進センターの基盤強化
(南老人福祉センター内事務所の有効活用)
- (2) 芸術の森地区町内会連合会福祉部及び単町福祉部との連携を密にし、相互の資質の向上を図る。
- (3) ボランティアの育成と研修
- (4) 福祉除雪の推進を図る。

2. 各部の重点計画

- (1) 事務局
 - ① 区社会福祉協議会との連携強化
 - ② 議案書、会議録等の適切処理と保存
- (2) 情報啓発部
 - ① 広報紙2回発行、特集号2回発行
(連町、社協、青少年育成委員会共同の地区広報、芸術の森委員会担当)
- (3) 調査研修部
 - ① 高齢者及び福祉担当者の福祉施設等の見学研修を実施する。

- ② 地区社会福祉協議会役員及び各単町福祉部長との福祉に関する意見交換会の開催。

(4) ふれあい部

- ① もりの仲間の交流会(3世代交流事業)
- ② もりの仲間の子育てサロン
(毎月第1・第3水曜日に前年同様引き続き実施)
- ③ もりの仲間のこまおか朝市
(毎月第2・第4日曜日に引き続き実施)
- ④ もりの仲間のさわやかクラブを開始する
(月1回こまおか朝市の開催に合わせて70歳以上の高齢者を対象に送迎バスを運行し入浴・食事・介護予防その他のメニューにより実施する。)

(5) 福祉推進部

- ① 福祉推進員の活動に対する協力体制と研修会への参加促進
- ② 6月 福祉推進員の協力体制等の意見交換会
③ 10月 外部講師による福祉推進員の研修
- ② 福祉ボランティア活動の推進
③ ボランティアセンターの設立に向けたワークショップの開催
- ③ 各専門部との事業推進協力体制の充実
(もりの仲間のこまおか朝市等の充実を図るために福祉推進員の事業参加を強力に推し進める)。

以上が18年度活動の重点事項であります。

- ④ ふれあい部の「もりの仲間のさわやかクラブ」の催しは、18年度の新しい企画であり、7月23日から実施致します。

高齢者の生活実態アンケート調査結果について

社会福祉協議会調査研修部

芸術の森地区に居住する高齢者の皆様が、日常どの様にお過しになっておられるか、最近薄れつつある近所付き合いのなかで、今年の様に雪の多い年ですと手助けを必要とする方々が多数おいでになると思います。皆様の福祉ニーズを把握することにより、スムーズな福祉活動が可能となります。この調査は6年振りの調査であり、地区民生児童委員のご協力を戴き実施致しました。ご協力戴いた回答の中には、貴重なご意見が多く寄せられました。そのご意見を無駄にする事なく、今後の福祉活動に活用し、推進して参ります。ご協力戴きました皆様に厚くお礼を申し上げます。

それでは、アンケート調査結果を参考までにご披露致します。独居高齢者が20%おられることが分かりました。今後、年毎に益々増加することが予想されます。日常生活で困っている事をお伺いしましたところ、予想どおり、冬期間の雪処理で大変苦労されている事が分かりました。又、貴方は近隣の方と親しくしたいですかとの設問に、91%の方々は「はい」と答えましたが、簡単なお手伝いをしてもらう事は、73%の方が希

望せらずと答え、何とか自力で対処するというご意見の方が多いことが分かりました。自立心が旺盛で、元気な内は、人のお世話には極力なりたくないとの気持ちをお持ちの様です。

それぞれの地域で、個別に対処しなければならない事案も数多く見受けられました。例えば、改正された敬老優待パスへの再改正要望（遠隔地居住者への配慮）例、4ヶ所の病院に通院し7月末で5万円分使い切った方が配慮を要望していました。又老人のニーズに答えた対応で介護施設、老人ホーム等の紹介、周知徹底を要望する提言、個別訪問による高齢者の把握、幼児達との交流及び子育ての問題、除雪で苦慮されている問題等々、身近に迫った問題として、緊急に対処すべき事柄ばかりであります。社会福祉協議会と致しましても、皆様のご要望にお応え出来る様努力致します。今後ともご支援よろしくお願ひ致します。（ちなみに「もりの仲間の子育てサロン」は、すでに高齢者と幼児達との交流として始まっています）。

積丹半島東海岸見学研修の旅

58名参加

社会福祉協議会調査研修部

芸術の森地区に居住する高齢者の皆様には、お変わりなくお元気でお過しのことと推察し喜んでおります。

毎年、高齢者のひきこもりを解消し、見聞を広めるために、この様な企画を実施してまいりました。若干マンネリ化の傾向はありますが、参加していただく方々が満足し喜ぶ姿を拝見することにより、自らも納得しているところです。17年度の見学研修の旅は、皆様の要望が最も多い、シャコタンブルーと呼ばれている青い海が印象的な積丹半島を選びました。この半島は、東海岸（シリパライン54km）と西海岸（カブトライン54km）に及び、透き通った海の海岸線を持ち、伝説を秘めて眠る奇岩怪石や、断崖絶壁を含む景観はすべてが心打つ情景であります。積丹岬と肩を並べる様に突き出た神威岬は、かつては女人禁制の地がありました。神威岩にまつわる悲恋物語の娘が残した恨みによって、女を乗せた船が通ると転覆したといわれています。それも今は遠い昔の伝説ですが、険しく神秘的な風景は昔のままあります。神威岬自然公園内には、レスト

ハウス「ペニンシュラ」があり、旬の味覚を堪能出来ました。最近、評判の良い岬の湯「しゃこたん温泉」（2002年1月オープン）にも入浴しました。日本海の雄大な眺めとたっぷりのお湯が自慢の温泉で、体と心のコリを解きほぐしてくれました。研修と名が付く内容は、五百羅漢図を拝観させていただいた事です。禅源寺の五百羅漢図は、種田富太郎という方が、権太さけ・ます漁場の帰途、利尻沖の大しけで遭難し漂流したが、ソ連船に救助され、日頃信仰していた觀音菩薩のおかげと寄進を思いついたといわれています。製作者は札幌一中（現在の南高）美術教師で20年で完成させた林竹治郎氏であります。

昨年度の見学研修の旅が終わり、又、旅が続きます。行き先は今のところミステリーです。いつも、皆様方のご要望を最優先に考慮し、企画しております。どうぞ、ご要望をお寄せ下さい。

要望先：芸術の森地区社会福祉協議会事務局
まちづくりセンター内 592-7144



「子どもの目線で」

芸術の森地区青少年育成委員会
会長 前 口 敦 司

昨今の子供達をとりまく環境は悪化の一途をたどっています。

我々育成委員は子供達をどう守れるのか、安心安全な環境作りにはどんな活動をすればよいのかを真剣に考えていかなければならぬと思っています。

我々の活動の趣旨は、各イベントを通して実際に子供達と接し、子供の目線で考えていくことにあります、そこに心の悩みや環境の問題点を見つけることが出来ると言えるからです。

また人の心の温かさや優しさも感じてほしいと思っています。

さて、本年度の委員会活動ですが、小学生スキー教室、交流餅つき大会、親善スポーツ大会、地区パトロールなどを例年通り行います。

本年度も、委員会活動を関係団体の皆さんと協力し、委員全員が一致団結して進めていきたいと思います。皆さんの参加、ご協力を宜しくお願ひします。



青少年育成委員会 定期総会報告

平成18年度芸術の森地区青少年育成委員会定期総会は、4月22日に開催され、平成17年度事業報告及び収支決算と平成18年度事業計画及び収支予算案が承認されました。

昨年度の反省をもとに、今年度も地域の活動に協力し、子どもたちの安全とたくさんの笑顔に出会えるよう活動していくことを委員一同確認することができました。

会議・行事予定

- | | |
|-----------------------|----------|
| ・平成18年度総会 | 4月22日 |
| ・第1回育成委員会 | 5月24日 |
| ・第2回育成委員会 | 7月5日 |
| ・「青少年の非行防止」道民総ぐるみ大会 | 7月20日 |
| ・南区青少年幾瀬委員会全体研修会 | 7月31日 |
| ・全体研修「子ども見守り」フィールドワーク | 8月1日 |
| ・盆踊り会場巡回 | 8月12日 |
| ・第3回育成委員会 | 9月6日 |
| ・もりの仲間の交流会協力 | 9月7・9日 |
| ・常盤神社祭の巡回 | 9月10日 |
| ・関係団体との意見交換研修会 | |
| ・第4回育成委員会 | 10月25日 |
| ・交流スポーツ大会 | 10月 |
| ・南区親善スポーツ大会 | 11月12日 |
| ・第11回芸術の森地区音楽祭協力 | 11月19日 |
| ・札幌市育成大会 | 11月19日 |
| ・第5回育成委員会 | 11月29日 |
| ・交流もちつき大会 | 12月10日 |
| ・成人式協力 | 1月8日 |
| ・スキー教室 | 1月13・14日 |
| ・第6回育成委員会 | 2月7日 |

有害図書自動販売機の撤去

去る5月23日21時頃、地権者の池田千代さんより真駒内3団の町内会田中会長に連絡があり、翌日田中会長より連町の高橋会長に連絡されました。

翌日早朝より上記2会長のほか、古内健全育成推進会長、常盤小学校古田教頭、まちづくりセンター石川所長の5名が池田さん宅に出向いて現地視察後、池田さんより設置業者に再三電話するも留守電。

その後、南警察署生活安全課、道庁、石狩支庁などへ撤去について協力要請を行ったほか、南区役所磯田市民部長から道庁へ働きかけを依頼するなど、総力をあげた結果、5月31日早朝に自販機は撤去されました。

このように、設置から撤去まで1週間という短期間で解決したのには、平成16年11月に常盤4条2丁目にビデオとDVD等を売る自販機が設置され、地域の関係者が一丸となって取組み、撤去に成功したことが大きな教訓として生かされました。

平成18年度 芸術の森地区町内会連合会役員名簿

役職名	氏名	所属町内会等
会長	高橋 稔一	アートパークタウン
副会長 (兼)総務部長	関口 明	常盤団地
副会長 (兼)企画部長	古田 雅一	地縁団体見晴
副会長 (兼)交通安全部長	近藤 勇	常盤一区
総務副部長 (会計)	村井 淳一	サンブライト真駒内
総務副部長 (庶務)	伏見 豊彦	駒岡団地
企画副部長	島田三千春	真駒内駒岡
文化部長	菅原 一郎	真駒内二団
体育部長	佐藤 優司	芸森東地区スポーツ振興会
体育副部長	古内 昭	常盤体育振興会
青少年部長	古内 昭	常盤中校区健全育成
環境衛生部長	堀川 昭八	石山東
防犯防災部長	定池 教章	常盤台
交通安全副部長	田中 勝雄	真駒内三団
福祉部長	伊藤 正	滝野
女性部長	三上 良子	地縁団体見晴
監事	藤澤 昭	常盤二区
監事	佐々邦雄	地縁団体石山八区

もりの仲間の子どもを見守る
ネットワークより

110番の家のスタンプラリーを小学校の夏休み期間中に実施しますので、110番の家の方は、ご協力を願いいたします。

平成18年度 芸術の森地区社会福祉協議会役員名簿

役職	氏名	所属町内会等
会長	伊藤 正	滝野町内会
副会長	近藤 勇	常盤一区町内会
副会長	館岡恵美子	常盤団地町内会
副会長	野中 晴彦	石山東町内会
副会長	安藤 晃	滝野町内会
監事	片山富次郎	石山東町内会
監事	米内 清	見晴町内会
事務局長	野中 晴彦	再掲
常任理事	馬場 宏	常盤一区町内会
会計部長	藤澤 昭	常盤二区町内会
調査研修部長	野中 晴彦	再掲
ふれあい部長	安藤 晃	再掲
福祉推進部長	塩田 恒雄	常盤団地町内会

平成18年度 青少年育成委員名簿

役職名	氏名	所属町内会
会長	前口 敦司	真駒内駒岡
副会長	吉澤 孝子	石山東
副会長	富士 順之	アートパークタウン
代表幹事	福田 知子	サンブライト真駒内
監査	古内 一枝	常盤一区
監査	遠藤 貢	常盤スポーツ少年団
委員	佐々木智明	見晴
委員	小石川英功	石山フォックス
委員	早坂 剛	常盤団地
委員	横山 雪枝	常盤団地
委員	横山 佳子	常盤一区
委員	菅江優美子	常盤一区
委員	石黒 裕子	アートパークタウン
委員	繁在家公恵	サンブライト真駒内
委員	丹代 孝子	常盤体育振興会

平成18年度芸術の森地区

交通安全運動推進委員会 定期総会報告

当地区の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと、よろこび申し上げます。

私どもの定期総会は去る平成18年5月25日(木)午後6時30分から芸術の森地区会館において開催し、多数の推進委員出席のもと無事終了いたしました。ただし、連合町内会が平成18年4月29日の総会において会則第9条を改正したので、当会においても対応する会則第5条を改正して連町からの「当て職」を止め、会長、副会長等を自主選任出来れば問題は解決となるわけですが常任委員会においても早急に結論を得ることは不可欠であり、平成19年度の総会まで時間をもらい、鋭意検討することとなっております。

さて、我々の交通安全運動は南区交通安全運動推進委員会の方針に基づき、計画し、実施しているもので、交通事故が発生する限り、永遠に続けられることでしょう。交通安全運動の中でも一番運転者にアピールするのは多勢による街頭啓発ではないでしょうか。本年度も例年通り、所定期別運動、4期40日の市民総ぐるみ運動街頭啓発、並びに特別活動として、全地区合同啓発、ファイナル啓発、さらには小樽市及び喜茂別町との合同による南区交通安全キャンペーン等も実施予定になっております。どうぞ皆様方のご協力とご支援のほどをお願い申し上げ要点のみですが総会の報告いたします。

事業内容の主たるもの(参考)

◎平成18年札幌市交通安全年間スローガン

- ・思いやる 心ひとつで 事故はゼロ
- ・反射材 あなたの命の 守り札
- ・手をあげて しっかり見よう 右左

◎平成18年札幌市交通安全運動の重点

- ・高齢者の交通事故防止
- ・自転車の安全運転利用推進

◎平成17年札幌市事故発生状況

	事故発生件数			死亡者数			傷者数		
	17年	16年	前年比	17年	16年	前年比	17年	16年	前年比
札幌市	12,161	11,690	-471	40	54	-14	14,583	14,116	467
南区	651	676	-25	4	6	-2	811	900	-89
芸術の森	40	22	18	0	0	0	49	31	18

芸術の森地区町内会連合会

交通安全部長 近藤

勇

◎所定期別運動 4期40日

18. 4 / 6 ~ 4 / 15	春の交通安全市民総ぐるみ運動、街頭啓発
18. 7 / 14 ~ 7 / 23	夏の交通安全市民総ぐるみ運動、街頭啓発
18. 9 / 21 ~ 9 / 30	秋の交通安全市民総ぐるみ運動、街頭啓発
18. 11 / 17 ~ 11 / 26	冬の交通安全市民総ぐるみ運動、街頭啓発

◎特別活動

18. 9	全地区合同啓発アパホテル前
18. 11	ファイナル啓発アパホテル前
18. 7. 10決定	第15回喜茂別町 南区合同キャンペーン (中山峠)
18. 8	第13回小樽市 南区合同キャンペーン (国際スキー場)

下記札幌市における17年の事故発生状況のうち死者数において市、区、共に前年を大きく下回り芸森においては前年に続いてゼロを記録いたしました。しかし事故発生件数や傷者数は増加しており大へん気になるところです。5月31日現在南区の交通事故者が2名となり6月6日現在では死亡事故の発生が4件4名となり17年の1年間の交通死者数と同数になってしまったようです。この調子で推移したら12月末の数字はどんなことになるのでしょうか。

皆さんこれは非常事態です。車の運転者は夕方になったら点灯しスピードダウンとシートベルトをお忘れなく、歩行者は特に高齢者の方は反射材を付け車道には出ない、歩道のない所は端を歩く、自転車は反射材や点灯をしてスピードは控えめにといった具合にそれぞれの立場で安全に通行しましょう。どうぞ皆さんお元気でお過ごし下さい。そして、交通安全運動に参加して下さい。

高齢者クラブ紹介 ①

本号から芸術の森地区連合町内会の高齢者クラブについて順次掲載いたします。

石山見晴寿会の活動状況

石山見晴寿会 会長 橋本 平吉

当会は創立以来28年目を迎えますが、会員の高齢化が進み体の不調を訴える会員が多くなり、クラブ運営のマンネリ化が指摘されます。これからも健康を第一に考え、活動内容の充実を図り地域住民との理解と共感の中で可能な限り実践し、一層仲間づくりの輪を広げ明日に向かって老後が豊かで健全なものにしたいものです。

◎活動内容

1. 支え合う仲間づくりの輪を広げる

・広報活動の充実

石山見晴寿会だよりの発行（毎月1回）
きずな発行（隨筆、俳句、短歌等（年1回9月））

・オープン事業（寿会と町内会の共催）

ふれあいグラウンドゴルフ（6月）
ふれあい旅行（7月）

2. 語らいと楽しみを共にする例会の充実

・例会日（毎月第1日曜日又は第3日曜日）

・ふれあいトーク

高齢者を取り巻く生活問題 友愛訪問

地域の日常的な防犯安全安心等

・レクリエーションで楽しみましょう

・大きな声で歌う 輪投げ、ダーツ、ペタンク



3. 社会参加の輪を広げよう

- ・町内会の清掃活動、資源回収に参加協力
- ・南老人福祉センター 花壇整備、花壇の手入れ
- ・ボランティア活動

和光園、盲導犬協会～ウエス寄贈、募金活動

4. 高齢者が相互に支え合う仲間づくりを進める

- ・寿会友愛チーム 年2回訪問（8月2日）
(話し相手になる、安否確認、孤独の確認)

5. 会員相互の親睦と融和を図る

- ・誕生会（6月、8月、12月、3月）
- ・長寿を祝う会（8月）
- ・観桜会（5月～山渓苑）
- ・慶老の集い（9月～南老人福祉センター）
- ・新年会（1月～南老人福祉センター）

6. 町内会盆おどり、連町運動会に積極的に参加し、世代間の交流を図りましょう。

＜楽しく、共に励まし、支え合う

老人クラブを目指して＞

充実・発展を目指す石山明正会

石山明正会(石山東) 会長 佐藤 廣幸

「明るく、楽しく、仲良く、助け合う」ことを目標に、生き生きと活動を続ける明正会は、石山東町内会のご指導とご尽力により、昭和53年7月に結成され、再来年には目出たく創立30周年を迎えます。

現在会員数92名、最近少々会員の減少が続いているので、創立30周年を機に10名以上の増員を目指して、現在運動を開始したところです。

明正会の活動状況を部毎にまとめて、主なものだけを挙げてみます。

(総務部) 月2回の例会の企画運営、会員動静に関する事、傷害保険業務、会報や文芸誌発行、誕生日、道路清掃奉仕活動、町内会との連携活動、他。

(研修部) 研修旅行の企画運営、クラブ単独の学習会、募金活動、諸研修会への参加と還流活動、他。

(保健部) パークゴルフ大会、ゲートボール大会の開催、室内ゲーム大会、輪投げ練習、他団体保健行事への参加、他。

(文化部) 例会時アトラクションの運営、クラブ文化祭の企画運営<作品展示会、芸能発表会>、関係団体の文化行事への出演、他。

(女性部) 女性部単独のPG大会、室内レク大会、友愛訪問、雑巾縫いと寄贈等のボランティア活動、他。



次に活発なサークル（同好会）活動を紹介します。

（ゲートボール同好会） 5月～11月

天気の良い日13時～15時、石山東公園コート。

（舞踊同好会）

毎月水曜日3回、石山東平和会館で練習。

（詩吟愛好会）

毎月月曜日4回、石山東平和会館で稽古。

（カラオケ同好会）

毎月金曜日4回、石山東平和会館で練習。

（麻雀愛好会）

毎月土曜日3回、石山東平和会館で交流。

（ボランティアサークル）

不定期、雑巾作成と寄贈、その他、石山東平和会館。

●石山明正会の特徴

- (1) 例会や研修旅行への参加率が非常に高い。
- (2) 町内会との連携活動が緻密に実施されている。
- (3) サークル活動が楽しく行われている。
- (4) 他地域からの加入会員が多い。
- (5) 男性会員が最近増加傾向にある。

空沼岳清掃登山

清掃登山は、6月24日開催されました。4日程続いた降雨も当日朝で曇り空に変わり、登山道のぬかるみを除いては、登山日和となりました。

しかし、早朝までの雨による登山道の悪化が懸念されたため、前夜から当日早朝にかけてキャンセルが続き、参加者はお世話頂いている常盤体育振興会の方々を含せ20数名と、昨年の55名を大幅に下回りました。

参加された皆さんには、悪路にもかかわらず元気で予定時間（2時間以内）で万計沼に到着。体育振興会の方々に準備して頂いたジンギスカンを美味しく頂き、予定より人数が少なくなった分だけ沢山頂いたせいか、どなたも満腹状態で下山することになりました。

下山途中足場が悪かったせいか、転倒する方もいましたが、全員無事下山することができました。



ソフトボール大会

芸術の森地区町内会連合会主催

“ソフトボール日和”

とでもいいますか、暑くもなくまた寒くもない一日、連町内8チーム参加による大会が華々しく開催され、老若男女（みんな）で爽やかな汗を流しました。

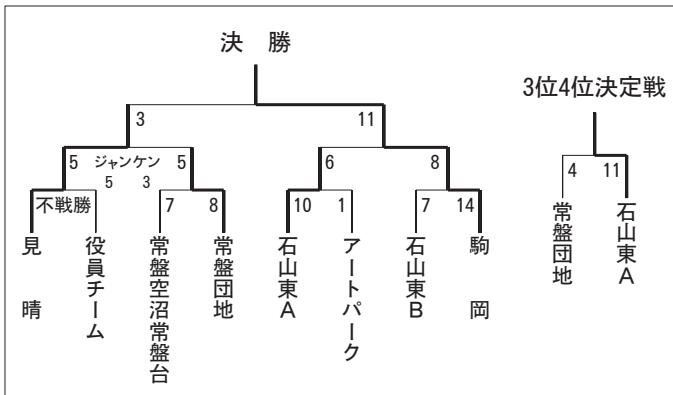


今年は、アンチ常盤空沼常盤台（前年度優勝チーム）を合言葉に、力を出しきり緊迫したゲームを展開しましたが、僅差で地力に勝る駒岡チームが念願の初優勝を飾りました。

成績は、優勝：駒岡、準優勝：見晴、

3位：石山東A、4位：常盤団地でした。

（7月2日、石山東公園ほか、参加人員150名）



常盤スノーフェスティバル

『常盤スノーフェスティバル』は15年前、完成直後の『滝野すずらん丘陵公園』の歩くスキーコースを利用し『常盤地区歩くスキーの集い』として始まりました。スキー用具一式は、常盤小学校、常盤中学校の備品を借用しました。両校あわせて、100セットあったと記憶しております。3年後に、常盤小学校PTA地区委員会が、小学校グランドで『雪中運動会』を開催しているのを見学する機会があり、これは2つの行事をドッキングさせれば冬の地域の行事としては老若男女を問わず全ての地域住民の集うすばらしいイベントになるのではないかとの発想が生じて現在の型になりました。幸い『常盤公園』という絶好の場所にも恵まれ、今や常盤地区の冬の行事として住民の皆様に喜ばれております。参加人員は多い年で300名を超え参加賞も不足した年もありました。子供達のゲームが主体となりますが、それを見守る地域住民の皆様のコミュニケーションの輪を広げる機会ともなっております。冬空の中でのブタ汁、焼肉の味は言うまでもありません。本年は『常盤大振』の設立30年になります。景品その他も例年より多く用意します。ふるって御参加を期待します。



第11回雪中運動会

芸術の森東地区スポーツ振興会 佐藤 優司

去る2月26日、芸術の森東地区スポーツ振興会主催により、第11回雪中運動会が石山東小学校グラウンドで行われました。今年は雪が少なくグラウンド整備もあまり時間かかることなく開催することができました。競技開始から3競技目までは順調でしたが、途中で天候が荒れ始め最後まで競技続行することが出来ず、昼食の豚汁と甘酒をいただき終了することになりました。町内会対抗では、石山東町内会が優勝、最後に楽しい抽選会を行いました。



食の豚汁と甘酒をいただき終了することになりました。町内会対抗では、石山東町内会が優勝、最後に楽しい抽選会を行いました。

もりの仲間の子どもを見守るネットワーク

児童の安全確保の取り組みについて

石山東小学校 教頭 土肥 隆

子どもを狙った犯罪が相次いで起こっています。強く抵抗できない弱者を狙う卑劣な犯罪者から、子どもたちを守るには、一つは「安全教育」を充実させ、子どもに危険予測・回避能力を身につけさせること、そ



してもう一つは「子どもは地域全体で守っていく」という活動の展開ではないでしょうか。

通学における児童の安全確保について、本校では以前から、“ヒヤリまっぷ”の作成やそれに伴う危険箇所の児童への指導、声かけなど不審者情報に基づいた指導や保護者の方々への周知、防犯ブザーの全児童への配布などの取り組みを行ってきました。

それに加えて、「石山東小学校区こどもを見守る会」の方々やスクールガードによる見守り活動が昨年度途中から始まりました。これは、子どもや、保護者、学校にとって大変心強く、感謝しております。

また、校区には160～170軒の家に『こども110番の家』のプレートが掲げられ、犯罪への抑止力になっていると思います。

今年度は、校区地図に通学路やこども110番の家そして危険ポイントを記した「安全マップ」をつくり見守りの重点化・効率化を図っていきたいと考えています。

さらに、ネットワークで決まった「110番の家スタンプラリー」「見守りメッセージカード」の取り組みを通して、地域の方々と子どもたちが顔見知りとなり、日常的に親しく挨拶を交わす雰囲気づくりが、地域の安全を高めるものと期待しています。

子どもの安全を守るために、息の長い活動となっていくように、今後も保護者の皆様や地域の方々と手を携えながら、努力を続ける所存です。



もりの仲間の子育てサロン

～おともだち大きくなりました～

昨年4月にオープンした「もりの仲間の子育てサロン」は地域の皆様の暖かい応援のおかげで、今年度も順調にスタートいたしました。はじめはお母さんから離れない抱っこのおともだちも、今では元気に走り回る2歳から3歳の子に育っています。お座り前の0歳の子や新しい子も加わってお友達の輪が広がっています。思う存分に体を動かせるよう、老人福祉センターのご好意で、センター内を自由に探検させてもらっています。

7月5日(水)には、七夕遊びをしました。柳の木にお星様・天の川・短冊を飾りました。七夕の絵本読みにはみんなの真剣な目が注がれました。季節感ある行事を取り入れながら、小イベントを交えて、今年もみんなが集うサロンにしていきたいと思います。

サロンでのちょっとしたおしゃべり……お母さん同士・ボランティアさん・おじいちゃん、おばあちゃんと……そんな自然なつながりが生まれています。

0歳から小学校入学前のお子様がいらっしゃる方は、いっしょに是非遊びにいらしてください。

●今後のサロンの開催日はつきのとおりです。

月日 (水)	8月2・23日、9月6・20日、 10月4・18日、11月1・15日、 12月6・20日、1月10・17日 2月7・21日、3月7日
時間	午前10:00~11:30
場所	芸術の森地区福祉のまち推進センター (石山78番地68・南老人福祉センター内)



(芸術の森地区社会福祉協議会)

もりの仲間のこまおか朝市

駒岡「朝市」発足の経緯について

駒岡「朝市」実行委員会

南区真駒内駒岡地区に一店あった雑貨店も過疎化の波に抗し切れず一昨年ついに閉店致しました。

この地域には、「保養センター駒岡」があります。毎年増加する高齢者のひきこもりを心配しておりますが、この度、図らずも、「保養センター駒岡」が、センターの拠点としての役割を担って、私たち福祉関係団体と協力して、福祉目的施設作りの強化と、併せて、地域福祉活動に貢献したいとの観点から参加を働きかけて参りました。



特に、高齢者の生きがい施策の充実について、地域住民の主導的な活動が望ましいとのことです。私たちが主導的に働きかけるべき趣旨の催しであり、今回の働きかけの趣旨に便乗し、少しでもその目的に近づけたいものです。その間、詳細な行動計画と、検討課題も提示されました。



さらに地元福祉関係団体との連携強化の必要性も示されました。その趣旨にそって賛同を得た結果として、昨年6月26日(日)より始め、毎月第2、4日曜日に実施して年度末20回を数える成果を残しました。出店202店、来客約2,898名、ボランティア220名、社協160名、総売上高、約260万円ほどの成果を得ました。

今回の成果を得て、朝市実行委員会は社協ふれあい部と協同で、ふれあい事業「もりの仲間のさわやかクラブ」を立ち上げ、今回介護を必要としない生活維持をめざして「介護予防教室」など含む諸行事にとり組むことになりました。第1回目は7月23日(日)から実施することになっております。

新一年生の皆さん 入学おめでとうございます

芸術の森地区交通安全母の会
会長 三上 良子

去る4月6日、芸術の森に新一年生104名が誕生しました。あいにくの小雨が降る肌寒い日となりましたが、晴れの日のお父さん・お母さん、それにおじいちゃんおばあちゃんの暖かいまなざしとカメラ・ビデオの放列の中、小さな主役が元気に登校しました。

石山東、常盤、駒岡各小学校の玄関前で、黄色のジャケットを着た母の会のメンバーから新一年生一人一人へ、プレゼントが手渡され、「おめでとう」「ありがとう」の言葉が交わされました。

この行事は、地域の子供達が元気に育って欲しいという地域の母親の気持ちから毎年行われています。以前は、手作りの給食ぶくろ・マスコット人形など色々なものがプレゼントされました。昨今は、ランドセルにさげる紐は安全上問題があるとの指摘もあり、今年は、定規・コンパスなどが入った文具セットをプレゼントさせていただきました。

交通安全母の会は、子供が元気に育つ環境作りに少しでもお役に立てればと思っています。



ごあいさつ

芸森連町と芸森地区社協の事務員として平成17年10月より、毎週月・火・水・金曜日の午後勤めています。皆様のお越しをお待ちしております。

事務員 伊藤 光恵

芸森地区まちづくりセンターに平成18年4月より連絡員として勤めています。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡員 幕田 美雪

第8回パークゴルフ大会

芸術の森東地区スポーツ振興会
会長 佐藤 優司

6月18日、芸術の森東地区スポーツ振興会主催による第8回パークゴルフ大会が、駒岡保養センターパークゴルフ場で行われました。

6月に入り天候不順が続いている札幌ですが、当日は久しぶりの良い天気に恵まれ、参加者は83名（小学生22名、女性23名、男性38名）で、上は81歳から小学2年生まで幅広い年齢層で会場狭しと半日汗を流しました。成績は小学生グループ優勝は、小田瑞生さん、女性グループ優勝は、佐藤清子さん、男性グループ優勝は、増井良年さんでした。

回を重ねる毎に熟年者が上位を占め、日頃の練習の成果が感じられました。子供からお年寄りまで楽しめるスポーツとして、これからも末永く振興会主催の定例行事としていきたいと思います。



編 集 後 記

平成18年度は、委員の半数が交代し、早速第5号の編集に取り組みました。3団体共同で編集を行っているため、原稿も増え、今回は12ページと厚くなりました。記事が多くて次回に回す原稿もでましたが、執筆された方々の期待に添うよう掲載に努めます。

編集委員長	関口 明 (連町)
副編集委員長	三上 良子 (社協)
編集長(連町)	堀川 昭八 (連町)
〃 (社協)	館岡恵美子 (社協)
〃 (社協)	吉澤 孝子 (社協)
〃 (育成)	石黒 裕子 (育成)
会計部長	佐藤 宗昭 (石山東)
情報部長	古内 一枝 (育成)
会計監査	江尻 元 (見晴)